初めてのテスト＝力試しのチャンス

いろいろウワサには聞いていたかもしれない、「中学校の定期テスト」が近づいています！

今年は休校の影響で、一学期は中間テストがなく、期末テストが「初めての定期テスト」となりました。本来なら五教科の中間テストで、「テストとはこんなものなのか」と知った上で九教科の期末テストに臨むわけですが、今回は初っぱなから九教科ということで、テスト勉強の時間配分がかなり難しいのでは、と想像します。

そんなこともあって今回はテスト一週間前ではなく、そのさらに五日前に試験範囲と時間割をお知らせします。明日からの四連休を有効に使ってほしいからです。

怖がらせるわけではありませんが、中学校のテストは小学校より問題数がかなり多いです。それが三日間九教科あるわけですから、準備のほうも十分にしておいてくださいね！（きちんとしておけば全然怖くないですよ）

※アドバイス１…提出物は、**絶対に**出しておいた方がいいですよ！！

※アドバイス２…テストは時間の使い方に注意！足りなかった、とならないよう時計を見ながらやろう。

１学期末テスト範囲と提出物

教科	テスト範囲	提出物
社会	教科書 P2～39　休校中の課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ワーク P2～27　自主学習ノート P1～14 資料集（授業で取り扱ったﾍﾟｰｼﾞ）授業ﾌﾟﾘﾝﾄ	ノート、自主学習ノート P1～14（休校中にしていなかったページもしておくこと。答え合わせをして提出すること。）
国語	教科書 P14～17,22～23,26～33,41～42,44～48,65～66,78,240～243 ワーク P4～15,17～23,33,40～41 漢字ﾉｰﾄ P2～11	・ワークは左のページをやって答え合わせをして提出　・漢字ﾉｰﾄは前回未提出の人のみ ・ﾉｰﾄ、ﾌﾟﾘﾝﾄ（ﾀﾞｲｺﾝ３枚、言葉の単位５枚、話し言葉書き言葉１枚）
音楽	中学生の音楽１ P6～12,29,32～35,52,53 音楽のﾜｰｸﾌﾞｯｸ P2～5,20,21,28,29　校歌	音楽のワークブック１年 ※答え合わせをして、テスト当日に提出
理科	教科書 P4～32,46～53　補助教材 P2～13 ワーク P2～27　白プリ　１～５	ワーク、オレンジファイル ※提出場所は第１理科室
英語	教科書 P8(数字の部分),12,13,16～19,22～41 ワーク P2～21　ノート P6～29	ワーク（答え合わせしておくこと） ノート
美術	１学期の学習内容 ※プリントをしっかりと読んでおくこと	作品提出は７／３１放課後 16:45まで 美術の授業または7/31美術室まで持ってくる　（できたところまで）
数学	正の数と負の数、文字と式 教科書　P10～67　ワーク　P2～27 移行用補助教材　P2～3	ワーク、移行用補助教材、ノート ※当日提出
技術	①製図（等角図、第三角法）※定規持参 ②木材の特徴 ノートとプリントを中心に出題します。 （教科書 P28,29,42～45 は参考）	な　し
保体女	教科書　P10～19　図解　P50～57 集団行動、ラジオ体操、時事問題	ノート
保体男	教科書　P10～17,134～137 時事問題	ノート ※「保健体育レポート①」を貼って提出

※音・美・技・保体は３０分のテストです（他は４５分）が、美術は３年生のテスト時間に合わせるため、はじめに自習時間を１５分取ってからテスト開始となります。そのため、下校予定時刻は、８／３が１１：４５、８／４が１２：００、８／５が１１：３０となります。

※提出物は、期日の指定がない場合は、その教科のテストの日の帰りの会の時に提出すること。

テスト時間割

実施日	時間	教科
8/3（月）	１限	社会
	２限	国語
	３限	音楽
8/4（火）	１限	理科
	２限	英語
	３限	美術
8/5（水）	１限	数学
	２限	技術
	３限	保体

３日とも給食なし下校。ただし5日は再登校しての部活あり。

共歩

第８号
発行所
式下中１年
編集　１年生
川西町結崎１８６６

もういちど、気を引き締めて！

新型コロナウイルスの感染が、また拡大しています。東京や大阪での感染者数には日々、恐怖を感じるほどですが、大阪に隣接する奈良でも、じわじわと感染者が増えています。先週はとうとう本校でも感染者が出たことは、皆さんも知っているとおりです。

学年ではその少し前から、皆さんの気のゆるみが気になっていました。トイレに入るのは三人まで、とか、教室では立ち歩かず、すわって会話をしよう、とか、先生たちに指導された人も多いと思います。その指導の内容は、じつは六月一日の学校再開にあたって、みなさんにプリントを渡して説明した「新しい学校生活」に書いてあったことなのです。なぜそのことをまた改めて指導しなければならなかったのか。それは、それらのことが守られなくなっていたからにほかなりません。皆さんの生活を見ていると、学校生活になれるに従って、「新しい生活」やコロナのことがどんどん薄れてきたように思います。友達の席の近くに何人も集まっておしゃべりしたり、くっつき合って手をつないだり、肩を押したり、自分の席でないところに座ったり、トイレからぞろぞろ十人近く出てきたり…。

もうコロナ感染は終わったのでしょうか？もしうつっても若いから大丈夫なんでしょうか？

あなたの家にはおじいさんやおばあさんがいますか？おとうさん、おかあさんは何か持病かあったりしませんか？あなたのうちにはいなくても、中学校には何百人もの人がいます。その中には本人が持病を持っていたり、今いったような人が家族にいる、という人が必ずいます。感染が広がったら、もしかしたらおとしよりや持病のある人にうつしてしまうかも知れません。

人を思いやるときに一番必要なのは、想像力だと言われます。「もし自分の軽率な行動で感染が広まったら、だれかのおじいさんが重症化するかも知れない、だれかのお母さんが苦しむかも知れない。そうなったらウイルスをうつしてしまったその子もきっとつらいにちがいない。」そのことを想像してください。

ただし、だれが始まりか、ということは重要ではないのです。そんなことを問題にしたり、詮索（せんさく＝調べたり探ったりすること）するのはやめてください。そんなことは何の役にも立ちません。生活の中で、気をつけていても誰にでも知らない間に感染してしまう可能性があります。



「あなた」も「わたし」もです。けれど、「新しい学校生活」が守られていれば、「あなた」や「わたし」から広がっていくことを抑えることができるかも知れません。そこが大事なところです。

わたしたちは、今、自らの行動を試されているのかも知れません。けれど、みなさんなら友達やそのうしろにいる多くの人のことを考えて、乗り越えてくれると信じています。今までの中学生が味わったことのないような苦しみではありますが、この試練はみなさんをきっと大きく成長させてくれると思います。ともにがんばりましょう！

保護者の皆様へ

ご心配をおかけしています。本校でもコロナ感染者が出ましたが、お知らせいたしましたとおり、関係生徒・職員のＰＣＲ検査の結果は全員陰性でした。しかし、日々のニュースに接するたびに、奈良はもうどこで感染者が出てもおかしくない状況になってきているのでは、という思いが強くなります。そんな中で、学校が出来ることを考え、実施しているのですが、集団生活の場である学校で、感染防止の基本である「接触を避ける」ということは非常に難しく、防止策の実行には生徒の皆さんの自覚と協力が不可欠です。ご家庭でも、折に触れて対策の重要性をお話ししていただければと思います。

また、今のお子さん方の生活を見てみると、塾や外部のスポーツチーム、友達との交流など、学校外での接触機会も多くなっていると思います。どうかご家庭でもそういった場面での行動についてお話ししていただければ幸いです。

ご不安も多々あると存じます。ご不明の点はいつでも学校にお問い合わせ下さい。今後も宜しくお願いいたします。